

麻酔科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

1. 末梢静脈ライン確保，動脈ライン確保を，患者さん相手に連日繰り返し研修できる
2. 患者急変時に重要な①気道確保+マスク換気②気管挿管を，専門医の丁寧な指導の下に，確実なバックアップのある安心感の中で，連日繰り返し研修できる
3. 生体情報モニターの整った環境下で，手術という大きな侵襲の加わった患者さんの麻酔管理を通じて，救急・集中治療にもつながる呼吸，循環，体液管理を研修できる
4. 中心静脈ライン確保や神経ブロックを通じてエコーの見方，使い方も学べる
5. 重症心大血管疾患患者の麻酔管理では，経食道心エコーも学べる
6. 豊富な緊急手術への対応を通じて，秋田県の医療状況を肌で感じ，秋田で医療人として活躍するモチベーションが高まる

※麻酔科では，毎日1～3例（場合によってはそれ以上）の麻酔管理（およそ20～40例/月）を通じて上記のような研修ができます。1～2か月の研修でも，完璧とは言えないまでも相当な力が身につきます。そして「確実な気道確保と末梢静脈ラインの重要性」を知り，「バイタルサインの読み取り方」を学ぶことは，必ず今後のみなさんの糧になります。

【専門研修に向けて(希望者には！)】

1. 専門家として必要な，生理学，薬理学に基づいたより深い指導を行います
2. 意欲と実力に応じて，より難易度の高い手技も体験できます。

【研修目標と評価】

一般目標

人体の生理学，病態生理学，薬理学を学びながら，手術麻酔を通じて全身管理の基本である循環，呼吸，体液管理を体得する。一貫した術前訪問，術中管理，術後管理を学び，その中で生命維持や危機的状況に必須な手技，状況判断，知識を身に付ける。

行動目標

1. 術前訪問を通じ，麻酔管理上の問題点を整理する。
2. 適切な麻酔計画を立て，正確に報告する技能を身につける。
3. 全身麻酔，局所麻酔における操作，手技の流れを理解する。
4. 術後呼吸管理を習得する。

チェックリスト《5段階評価》

知識：

1. 麻酔管理上問題となる各種疾患に対し、適切な術前処置を行う。
2. 麻酔管理に用いるモニターの種類と意義，特徴を理解する。
3. 麻酔前投薬の意義，投与経路，投与量を説明できる。
4. 気管挿管の適応を理解する。
5. 硬膜外麻酔，脊髄クモ膜下麻酔の適応，禁忌を理解する。
6. 輸液の種類，病態に応じた適応や投与量を説明できる。
7. 各種静脈麻酔薬の適応，禁忌，投与量を説明できる。
8. 吸入麻酔薬による呼吸，循環器への作用を説明できる。
9. 各種麻酔法による合併症とその治療を説明できる。
10. 脳圧亢進や虚血性心疾患などの病態に応じた呼吸，循環，体液管理を説明できる。
 11. 動脈血ガス分析値を評価し，適切な人工呼吸器の設定ができる。
 12. 血液電解質，血糖値を評価することができる。
 13. 体温管理の意義と方法について説明できる。

技能：

1. 末梢静脈路を確保することができる。
2. 末梢動脈にカテーテルを挿入することができる。
3. 静脈血，動脈血を採血することができる。
4. 気道確保し，マスクによる陽圧換気を行うことができる。
5. 気管挿管を実施できる。
6. 腰部硬膜外カテーテルを挿入することができる。
7. 脊髄クモ膜下麻酔を行うことができる。
8. 体温管理を適切に行うことができる。
9. 胃管を挿入できる。
10. 局所麻酔法を実施できる。
 11. 基本的な輸液ができる。
 12. 輸血による効果と副作用について理解し，輸血が実施できる。

詳しい検査をする能力：

1. 動脈血ガス分析
2. 術前心エコー，負荷心電図
3. 術前呼吸機能検査
4. 血行動態測定

【方略】研修方法

1. 主に入院患者を数名担当し，上級医，指導医とともに診療に当たる。
2. 上級医の指導の下に外来患者の診療に参加する。
3. 総回診あるいはケース・カンファランスで症例提示を行う。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
5. 担当した患者に関する文献をインターネット等で検索し，科学的に吟味してカンファランスで紹介し討論する。

指導医

新山幸俊，木村 哲，佐藤浩司，堀越雄太，嵯峨卓

麻酔科ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~masui/>

麻酔科についてのご質問は，

木村 哲

e-mail：kimtetsu@doc.med.akita-u.ac.jp

TEL：018-884-6175，FAX：018-884-6448

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
7:45	カンファランス		症例検討会		
8:00	(総説・研究紹介) 麻酔症例提示	抄読会 麻酔症例提示	麻酔症例提示	抄読会 麻酔症例提示	抄読会 麻酔症例提示
8:45	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例	臨床麻酔症例
17:00 19:00	術前・術後回診	術前・術後回診	術前・術後回診	術前・術後回診	術前・術後回診